

君進出策を樹て、先づ共第一歩として一月に社員、記者、二場員、書令として三十有餘名の數を切つた。これに於てまうぬ新資本家は第一着手として文撰工の數首を志した。其味極まりなき資本家は、高見君の從業員一同に候望を承知して、高見君を陥れることによつて文撰部從業員一同が何事かの行動に出でるであらう。是れこれによつて職會に現從業員全部を斃り、彼等の野望横暴なる政策を遂行せんとせらるゝのである。

諸君、新うし資本家は、現從業員全部の首を切らうが彼等の目的である。従つて此争議が解決が附けば次には極大部機部、編輯部と次から次へと諸君の首は飛んで行くのである。故に諸君の首は時向の問題である。諸君は所謂股變変更する名目の下に大改訂日販賣店代理の資本の諸君の首を切らうとあるのかかう諸君は諸君の生活の安定を圖るために会社から絶対的に首を切らうと言ふ言は

を得る運動を起すと共に更に吾等の此數は勝利に歸せらるる爲に精神的に物質的に御援助あらんことを切願す。

神戸市下山寺通八百二十五ノ一

神戸又新日報社争議団

日本労働組合
評議會 神部労働組合

一九二六・四・三三